



笠栄会

質問者

やまもととしあき
山本俊明議員

所属議員

おくのやすひさ
奥野泰久議員

せのおひろゆき
妹尾博之議員



平成29年度決算を平成31年度予算にどう活かすのか

議員 第6次総合計画は平成29年度決算で締めくくられた。その評価と成果をたずねる。また、それを生かした平成31年度予算に対する思いについてもたずねる。

市長 成果としては、路線バス利用者の増加、学校へのエアコン設置やテニスコート整備等の着実な進展、健康寿命の延伸などがある。また、認定こども園の整備も本格化し、企業誘致も好調であり、雇用の拡大が見込まれる。まちづくりに協議会では様々な事業が展開されている。結果的にはそれぞれの事業が十分でなく全体として笠岡市が抱える諸問題に対応しきれなかった。平成31年度の予算編成は笠岡市が生き残る為に知恵を出し合い着実、確実に進める。

災害による財政負担と笠岡市就学前教育・保育施設再編整備を問う

議員 平成28年、30年と1年おきに大きな災害を受けた。財政負担も大きく、この事が行財政健全化や財源確保に影響し、今まで示された安定的、計画的な笠岡づくりに支障はないか。次に就学前教育・保育施設再編整備を具体的に今後どう進めていくのかたずねる。

市長 平成28年の災害で7億1490万円計上、財政調整基金を6億7000万円取り崩し、残高は10億3400万円となった。7月の豪雨災害では15億6046万円の災害関係予算を審議していただいてる。安定的、計画的な財政運営を行っていく。

教育長 パブリックコメントを実施し保護者や地域へ説明会を行い、意見を参考に計画決定に努める。



讃志会

質問者

みたに わたる
三谷 渡議員

所属議員

ひがしかわさぶろう
東川三郎議員

おおやまもりひさ
大山盛久議員



安全・安心で住みよいまちづくりの取り組みを

議員 安全で安心のまちづくりについて、防災・減災対策など本市の取り組みをたずねる。

市長 豪雨時の河川の氾濫等で起こる浸水被害対策として、侵食や老朽化した護岸の改修、河川内にある立木の伐採、堆積した土砂を撤去するしゅんせつ工事を行う。また、排水機場やポンプ場施設の整備・更新を行っていく。干拓地の道路冠水対策は、道路のかさ上げ及び水路の改良が年度内に完了予定である。寺間排水機場は、機器の更新等の改修を平成31年から36年度にかけて、国が事業主体として直轄事業で実施していただく。洪水ハザードマップは、県の土砂災害特別警戒区域の基礎調査が平成31年度に終了予定であり、その結果を踏まえ更新を検討する。高

市内の工業用地・団地確保に向けた取り組みを問う

議員 市内の工業用地、工業団地の確保に向けた取り組みをたずねる。

市長 県所有の笠岡港工業用地の全26区画のうち、売却済みが18、売却内定が6、商談中が1、あいっている区画は1区画のみである。民間活力を利用した民有の工業用地の確保及び新規の工業用地、団地の確保については、担当職員との誘致活動で進出意欲のある事業者と開発事業者を積極的にマッチングさせることで、オーダーメイド方式による民間事業者の工業用地開発を誘導したい。

